

IgG4 関連疾患の治療戦略フローチャート

ポケットブック版にてご覧いただけます。

【お問い合わせフォーム】

<https://www.mbl.co.jp/contact/dia.html>

自己免疫性膵炎の治療についてのコンセンサス

ポケットブック版にてご覧いただけます。

【お問い合わせフォーム】

<https://www.mbl.co.jp/contact/dia.html>

血管炎症候群

血管炎とは血管壁に炎症をきたす病態であり、それによりもたらされる多彩な臨床症状、疾患群を総称して血管炎症候群とよびます。この中には血管炎そのものを主体とする独立した疾患（原発性血管炎）と、他疾患に血管炎を伴う病態（続発性血管炎）が含まれます。このうち原発性血管炎については、1994年に発表されたChapel Hill Consensus Conferenceの名称と定義（CHCC1994）が用いられてきましたが、2012年に続発性血管炎を含めた多くの血管炎につき、新たな名称と定義がChapel Hill Consensus Conference 2012（CHCC2012）によって定められました。

CHCC1994同様、CHCC2012においても、その分類は罹患血管サイズを根幹としています。大型血管炎、中型血管炎、小型血管炎に分類される中で、小型血管炎には毛細血管、細動脈、細静脈、および小動脈などの障害が含まれます。また小型血管炎は、免疫複合体が関与する疾患群と関与しない疾患（pauci-immune vasculitis）群に大別され、後者のうち、顕微鏡的多発血管炎（Microscopic polyangiitis: MPA）、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症（Eosinophilic granulomatosis with polyangiitis: EGPA）および多発血管炎性肉芽腫症（Granulomatosis with polyangiitis: GPA）などの疾患群は、抗好中球細胞質抗体（anti-neutrophil cytoplasmic antibody: ANCA）と呼ばれる共通の自己抗体が高頻度で検出されることから、ANCA関連血管炎（ANCA-associated vasculitis: AAV）と称されています。



血管炎症候群の新たな分類

ポケットブック版にてご覧いただけます。

【お問い合わせフォーム】

<https://www.mbl.co.jp/contact/dia.html>

血管炎症候群の診断のアプローチ

ポケットブック版にてご覧いただけます。

【お問い合わせフォーム】

<https://www.mbl.co.jp/contact/dia.html>

皮膚血管炎の診療アルゴリズム

ポケットブック版にてご覧いただけます。

【お問い合わせフォーム】

<https://www.mbl.co.jp/contact/dia.html>

AAV の治療レジメンの選択

ポケットブック版にてご覧いただけます。

【お問い合わせフォーム】

<https://www.mbl.co.jp/contact/dia.html>

免疫抑制・化学療法により発症する B 型肝炎対策ガイドライン

ポケットブック版にてご覧いただけます。

【お問い合わせフォーム】

<https://www.mbl.co.jp/contact/dia.html>